

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)

公立中学校の部活動について

問 令和5年度運動部大会の実績について。

教育長 東海大会出場6校、個人種目8種目、団体種目8種目。全国大会出場2校、個人種目2種目、団体種目2種目。

問 令和5年度文化部大会の実績について。

教育長 北友太鼓部ステージ部門参加、吹奏楽部東部地区大会2校、県大会2校、英語弁論東部大会2名、県大会2名。

問 大会参加の補助制度(補助金の種類、補助対象者、補助対象経費、補助額)について。

部長 体育連盟事業費補助金は大会運営に係る経費への補助。体育振興費補助金は中体連の大会参加に要する経費への補助で、個人の部東海大会6,000円、全国大会12,000円、団体の部5人以下東海大会3万円、全国大会5万円等。

芸術文化振興費補助金は、中文連の大会参加に要する経費への補助で1人につき東海大会2,000円、全国大会4,000円。上位大会のみ交付。部活動のあり方検討会で、今後の部活動のあり方を検討中。費用についても考えたい。

意見 市の代表で参加するので、補助でなく掛かった経費について全額支出するべきである。

体育施設の有効利用について

問 スポーツ以外の活用についてはいかがか。

部長 指定管理者と協議しながら、施設をさらに有効活用を図るために、スポーツ以外の取組も検討していく。

放課後児童クラブにおける防犯対策について

問 防犯対策の指導内容や備品について伺う。

部長 令和6年度から安全計画の策定が義務化されるため、市において安全管理マニュアルのひな型を提供し、各児童クラブにてそれぞれ策定作業を行っている。備品について整備が難しいものについては、児童クラブと協議しながら市も一緒に対応方法も含め検討していきたい。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(キセキ)

(仮称)富士宮市立郷土史博物館基本構想

問 基本構想について。

部長 市議会へ会派別に説明させていただいた結果、スケジュールに沿って一気に整備を進めることが難しいと認識している。文化財保存活用地域計画に基づいた博物館基本構想として進める必要がある。基本構想のスケジュールは今後変更になると考えられる。

問 埋蔵文化財センターは博物館に併設となっているが、別棟を建てるのか。

部長 今後見直しにより別棟もある。

問 令和6年度に博物館予算を計上するのか。

部長 優先すべき課題に対応する予算を検討。

問 基本計画策定委託料を計上するのか。

部長 基本構想の見直しを考慮し、一歩ずつ進めるため基本計画策定委託料は計上しない予定。

問 まずは市民の声を入れてほしい。令和2年の時の議員の要望が十分反映され、社会情勢、その動向を踏まえて必要な優先順位を十分考慮したものであってほしいと思う。全体像が見えてこない。博物館法の改正もポイントで構想を考え直し、社会情勢を鑑みて、ゆっくりじっくりやっていただきたいが、市長いかがか。

市長 社会情勢を見ながら考えている。ゆっくりじっくりやっていく。一気にやってしまえと思ったが、いろいろなご意見もある中、財政状況も考えているが、博物館を造ったからといって富士宮市の財政がひっくり返るようなことはない。

問 大きな箱物を作るときは普通、基金とか積み立ててないのか。十何年も前からこの話が出ているのに基金の存在がないのは不思議。そのような努力が必要だと思うが、いかがか。

副市長 じっくりやっていく。文化財保存活用地域計画は、文化財のマスタープラン。その中でいろいろな意見を吸い上げられると思う。